「Shurenkai」と出会って

亀田歯科医院　外城英史

Shurenkai　StepUp 講座を受講して 6 年が経ちました。ベーシックを受講する前、いろいろな研修会に参加していましたが、どの研修会も咬合に関して・・・いや、補綴臨床全般に関して明確に答えてくれる研修会はないと感じていました。しかし、ベーシックを受講したときに中村先生の圧倒的な理論化に、「中村先生は何かが違う！！」と直感しました。休憩中に中村先生に質問に行き、「本当に（咬合の）答えがあるんですか？」と（大変失礼極まりない）質問したところ、「あるよ。」と。それからというもの、研修会で学んだことを少しずつ実践していくと自分の臨床が変わっていくのを実感しました。やれば変わります。それが Shurenkai　StepUp 講座だと思っています。

結局は自分が理解できていたとしても、医院にどのようなプロセスで落とし込んでいくのかがポイントになると思います。実践しないとわからないことがたくさんあります。そんな時、スタッフに協力してもらうことで、ずいぶんと助かります。最初、私は全て自分でやっていました。そして、自分の中で腑に落ちたことをスタッフにお願いしていくスタイルをとりました。しかし、それでは、すんなりいきませんでした。やはりそういう意味では、スタッフと一緒に参加するというのが理想的かもしれません。実際、スタッフと一緒に参加したコースの分野に関しては圧倒的に早く実践できましたし、スタッフが協力してくれる流れを作れたのは何より心強かったです。スタッフは理解してくれようとしますし、実践してくれようとします。大事なのは自分自身の「あり方」ではないでしょうか。

私にとっては理論武装することで、患者さんに対してもスタッフに対してもずいぶんと変わりました。そして、私に対する患者さんやスタッフの反応も変わりました。

今日は当医院の取り組みについてお話しさせていただきますが、皆様にとって少しでも参考になればと思います。